

## 声をあげよう

今年度の野田中学校では、スローガンとして、「声を届けよう」を掲（かか）げてきました。

授業中の発言や発表はどうでしょうか。クラス中に聞こえるような声の大きさになっているのでしょうか。自分の考えを理解してもらうために、理由や根拠を説明できているのでしょうか。

学級や委員会、部活動などでの話し合いでは、どうでしょうか。自分の意見を言えているのでしょうか。意見を言う前に、もっとよりよくするための自分の考えをもつことができているのでしょうか。

歌声はどうでしょうか。10月の合唱コンクールでは、体育館中に各学級の歌声が響きわたりました。これからは、卒業式があります。学校にとって、一年のうちで最も大切な行事です。ぜひ、全校生の声が、3年生の声が、響くことを願っています。

さて、4月から始まる令和6年度では、スローガンとして、「声をあげよう」を考えています。学校をよくするための意見や考えを、今まで以上にみんなで考え、どんどん出していこうということです。

「生徒心得」などの学校のきまりについても、ぜひ考えてもらいたいと思います。なぜ、このようなきまりになっているのか。なぜ、このきまりは必要なのか。生徒のみなさんと先生方とで考えた結果、なくなるきまりもあるでしょう。変更されるきまりも出てくるでしょう。みんなで考えたきまりであれば、みんなで守ろう、そして、自分たちの学校をよくしていこうとなるのではないのでしょうか。

また、発言や発表には、相手が十分に聞こえるような声の大きさも必要です。人前で自分の考えを言える生徒が増えていますが、もっともっと多くの生徒が、堂々と自分の意見を述べるようになれば、学校生活はもっと充実したものになるのではないのでしょうか。みんなで「声をあげよう！」